



令和6年度学校評価の報告

R6.7月実施

年に2回、児童、保護者、教職員に中央小学校の教育、学校生活などについてふりかえる「学校評価」を実施しています。いただいた評価について報告させていただきます。
(示した%は肯定的な回答を合わせたものです。Aは「強い肯定」を示します。)

1 子供中心のわくわくする楽しい学校

「学校は楽しい」

児童94.5%(A70.2%)保護者94.3%(A46.4%)

「学ぶことは楽しい」

児童95.5%(A65.5%)保護者91.2%(A28.8%)



子供たちは支持的な人間関係や自己有用感等を土台に、学校生活(行事や学習)で力を発揮しています。そうした状況などから、学校を「楽しい」と感じていることが伺えます。

2 人との間で、承認欲求や「所属と愛の欲求が満たされる温かな学校

「自分のことを大切に思っている」

児童93.8%(A67.7%)

「自分の学級は安心できる」児童94.7%(A58.1%)

「学校には信頼できる先生がいる」保護者95.5%(A37.6%)

「友だちのことを大切に思っている」

児童98.8%(A86.4%)

「学級や学年、グループの友だちと協力している」児童97.0%(A64.3%)

「よりよいクラス、学校になるため進んで活動している」児童94.0%(A48.7%)

「まごころ見つけ」などを通して、子供たちは自尊感情、他者尊重を高め、自分たちの学級に安心感や居場所を感じています。

3 安心・安全・安定(ユニバーサルデザイン化と危機管理) コミュニティ・スクールの展開(教育環境の整った学校)

「学校は子供の安心・安全を考えて教育活動をしている」

保護者97.9%(A41.7%)

「先生は子供が間違っことをした時、きちんと指導している」

保護者96.5%(A37.9%)

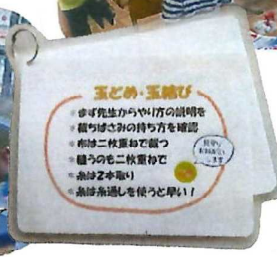
「コミュニティ・スクールの活動を知っている」

保護者69.1%(A15.5%)

「コミュニティ・スクールのおかげで授業が充実している」

教職員92.9%(A42.9%)

4年生
理科「電流のはたらき」
地域の方の支援のおかげで全員が直列、並列つなぎや検流計の回路をつくることができました。



5年生
家庭科の「玉どめ、玉結び」

一人一人の自尊感情を大切にして、子供たち自身の動き出しを大切にした学校づくりが、児童、保護者の方々の視点でも共有されてきていることを大変うれしく思います。全体的に肯定的な回答の数値が非常に高いことに、学校では感謝と今後の取組への意欲をより高めています。

一方で家庭学習について(裏面参照)などいただいた御意見についても、改善できる部分は分析・改善して、よりよい学校教育に役立てていきます。 ※第2回 学校評価は11月下旬を予定しています。

9月の教育活動 ○数字は、学年を表しています

日	曜	教育活動
1	日	
2	月	避難訓練(火事)→延期
3	火	4年以上6時間授業 身体測定④ 防災学習④ sc ssw
4	水	新体力テスト③④⑤⑥
5	木	新体力テスト①② 身体測定なかよし
6	金	4時間授業日 どんぐり教室
7	土	PTA奉仕作業
8	日	PTA奉仕作業予備日
9	月	身体測定⑤ 放課後サポート学習 代表委員会(参加児童は15:45下校)
10	火	4年以上6時間授業 身体測定⑥
11	水	フッ素
12	木	アルミ缶集め 歯科検診(①④⑥ な)交通安全を語る会⑥
13	金	4時間授業日 どんぐり教室 町PTA教育講演会
14	土	
15	日	
16	月	敬老の日
17	火	4年以上6時間授業 sc
18	水	フッ素 いじめアンケート
19	木	委員会⑤⑥
20	金	4時間授業日 どんぐり教室 お話玉手箱 ベルマーク ssw
21	土	秋の全国交通安全運動(~9/30)
22	日	秋分の日
23	月	振替休日
24	火	4時間授業 教育面談 どんぐり教室 PTAボランティア交通立哨(9/30まで)
25	水	フッ素 吉中職場体験(9/27まで) 教育面談 4時間授業 どんぐり教室
26	木	教育面談 4時間授業 どんぐり教室 歯科検診②③⑤
27	金	前期終業式 教育面談 4時間授 業 どんぐり教室 PTA本部部長会 ssw
28	土	
29	日	
30	月	後期始業式 教育面談 4時間授 業 どんぐり教室

記述欄の回答について一部ですがお伝えします。

学校評価「家庭学習について」

特に以下の点では複数の御意見をいただきました。

- 1 デジタルの家庭学習のねらい、効果に疑問を感じる。
- 2 漢字の書き取りについては、「ノートに書く」などアナログの取組も重要なのではないか。
- 3 デジタルになって子供の家庭学習が把握しにくくなった

1 (デジタルの) 家庭学習のねらいについて

中央小学校では、家庭学習のねらいを

- ・ 生涯にわたって主体的に学び続ける力の育成
 - ・ 基礎学力定着
- とおさえています。

本年度、3年生以上は「宿題にICTをうまく取り入れることによって、漢字・計算などのドリル的な学習(基礎学力定着)の効率化を図り、それによって生まれた時間で子どもの自主的、応用的な学習を促す。」という取組を開始しました。

「デジタルのよさ」として、「漢字の書き順の添削を行える」「漢字の読み書きでの自動添削機能」「計算ではAIドリル機能を使っての個別問題配信」など、よりきめ細やかな個別学習が可能になります。

そしてデジタルによる効率化によって、教師、子供共に「自主的、応用的な学習」への対応の時間を生み出すことをねらっています。

2 漢字のノートへの書き取りについて

「紙に漢字を書くこと」などアナログのよさも大切にしたい、という御意見を複数いただきました。

「漢字の家庭学習」について、学校は下記をおさえとさせていただきます。

- ・ドリルパークで新出漢字の練習(書き順添削機能付き)を行う。
- ・ドリルパークの「書きドリル」「読みドリル」で読み書きの練習をする。(正誤の添削機能付き)
- ※端末使用の目的は書き順と正誤の自動添削です。紙に書きたい子はノート等での書き取りを行ってください。

御家庭で話し合って紙(ノート)での書き取りも行った方がよいと考えられた場合は、ぜひ併用してください。

3 (デジタルの) 子供の家庭学習の把握について

保護者や教師は家庭学習によって子供の成長を支えようとするのが大切です。その意味で「子供たちの家庭学習をしっかりと把握したい」という御意見は、とても素晴らしいと思います。

- ・御家庭に配布したお子さんのgoogle IDとパスワードでログインすることで保護者の方々の端末でも、お子さんのgoogleアプリ「クラスルーム(予定等)」等を閲覧することができます。

- ・ドリルパークの「ふりかえり」を見れば、これまでのお子さんの学習履歴、内容を確認することができます。(ドリルパーク(ミライシード)の個人ページへの入り方はお子さんにお尋ねください。

変更前から家庭学習で一番大事なのは「子供自らが主体的に自らを伸ばそうと取り組んでいるか。」という点であり、そこは変わりません。今後も保護者と学校が、連携して、そうした姿勢や力を育てていきたいと考えます。